八戸工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	英語ⅢA(0252)

科目基礎情報

科目番号	0313	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	産業システム工学科電気情報工学コース	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	『Mainstream English Communication ２』文英堂. 石黒昭博監修 『Forest』、桐原書店、2007. 『NextStage』, 桐原書店, 2011. 『速読英単語』Z会２０１２.		
担当教員	菊池 秋夫		

到達目標

英語４技能のバランスのとれた発達を促すという教科全体の目標の中で、この科目では、基礎的な文法・語法・語彙などをさらに学ぶ。語彙力は、高校１－２年生でマスターしておきたい基本語４００－５３０語を身につける

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	基礎的な文法などを80%以上理解できる	基礎的な文法・語法などを60%以上理解できる	基礎的な文法・語法などを50%以上理解できる
評価項目2	語彙力は、高校１－２年生でマスターしておきたい基本語４００－５３０語を80%以上身につける	語彙力は、高校１－２年生でマスターしておきたい基本語４００－５３０語を60%以上身につける	語彙力は、高校１－２年生でマスターしておきたい基本語４００－５３０語を50%以上身につける
評価項目3	英検準2級リーディングの文章を80%以上理解し要約できる	英検準2級リーディングの文章を60%以上理解し要約できる	英検準2級リーディングの文章を50%以上理解し要約できる

学科の到達目標項目との関係

DP1 豊かな人間性の涵養　DP6 異文化理解とコミュニケーション能力の習得
地域志向 ○

教育方法等

概要	【開講学期】春学期週2時間、夏学期週4時間 基礎的な文法・語法・語彙などをさらに学ぶ。
授業の進め方・方法	英文の読解、文法事項の解説、語句の活用練習、発音練習、文化的背景の説明を行う。文法や語彙力を実践的に身につけ、読解力をつけるために、多読学習でショートストーリーを数多く読む。毎週小テストを実施する。また、インプットした力を試すための作文課題を中心に指導を行う。
注意点	予習として教科書の本文を黙読して本文の質問に答え、何度も音読すること。さらに、単語・熟語を調べ、指定された箇所の意味を日本語で書くこと。　２）　読解力を伸ばすために、ショート・リーディングの課題を毎週すること。週１回、単語・熟語を中心とした小テストを行う。３）英語力向上においては、学生自身による反復練習を含む授業以外での学習なしではありえない。ラジオやテレビの英語学習番組を視聴したり、字幕付き洋画を見たり、英字新聞を読むなどの自習も求められる。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Introduction	
		2週	Chapter 6 再帰代名詞	再帰代名詞の使い方を理解する
		3週	Chapter 6 ～する方法	the way S+V
		4週	Chapter 6 まとめ	
		5週	Chapter 7 動名詞の主語	動名詞の主語を理解できる
		6週	Chapter 7 省略	省略の構造を理解できる
		7週	Chapter 7 強調のdo	doが強調の意味を表すことを理解できる
		8週	到達度試験	
	2ndQ	9週	Chapter 8 未来完了	未来完了を理解できる
		10週	Chapter 8 受け身の不定詞	受け身の不定詞を理解できる
		11週	Chapter 8 関係代名詞whose	関係代名詞whoseを理解できる
		12週	Chapter 9 ifを用いない仮定法	ifを用いない仮定法を理解できる
		13週	Chapter 9 否定の分詞構文	否定の分詞構文を理解できる
		14週	Chapter 9 動名詞の受け身	動名詞の受け身を理解できる
		15週	復習	
		16週	到達度試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	

				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディーランゲージなど)。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0